

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.856  
2019.11.17-24

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

## 身近な要求をかたちに

11月8日、さいたま市民会館うらわにて、党市議団主催の9月議会報告会が開かれました。

はじめに、9月議会の特徴について、松村としお市議が報告をおこないました。松村市議は、「消費税10%増税直前の議会だったので、請願審査や代表質問を通じて党市議団が最後まで『市民の生活と生業を壊す消費税増税は反対』とせまった」と報告。また、公共施設のトイレと、コミュニティバスの問題について一定の前進が見られたことについて述べました。

次に、代表・一般質問の動画を上映しました。代表質問で消費税問題をとりあげたとりうみ敏行市議は、「市民の切実な要求の実現を阻む国の法律を変える必要がある。市議会が国政問題について質問して、国政と市政の関係を広く市民のみなさんに知ってもらいたい」と話しました。また、一般質問にたった



### 9月議会報告会がひらかれる

久保みき市議はDV被害者支援と動物愛護行政について質問し、その他「老後を安心して過ごせる年金制度を実現するために、市として国に声を上げるべきだと年金問題について質問した」と話しました。

続いて、神田よしゆき市議より2018年度決算審査の報告をおこないました。神田市議は「さいたま市の2018年度決算は、実質収支が約26億円の黒字で、基金の総額も736億円と過去最大。過度な行政改革の推進で、市財政に大きな黒字を生み出すことになっている。一方で市民のくらしの現状は、



と感じた」と話しました。

最後に、参加者を4グループに分けた分散会をおこない、それぞれのグループで市議会についての質問や地域の要望を意見交換しました。参加者からは、台風19号による水害被害の実態や、公民館やコミュニティバスへの要望、子どもの居場所づくりや学校部活動の実態、大宮駅周辺の大型再開発など多岐にわたる質問や意見が寄せられました。

#### 感想

- ◎分散会形式が大変よかったと思います。聞くだけでなく、「見る」「話す」ことも配慮された報告会でした。
- ◎はじめての参加でしたが、議員と話すなかで疑問や分からないことなどが分かり、よい勉強になりました。

## 12月議会がはじまります

11月27日(水)から12月20日(金)までの24日間、12月議会が開催されます。

請願の締め切りは11月19日(火)17時です。請願の提出には紹介議員が必要です。お気軽にご相談ください。

一般質問は、党市議団から松村としお市議ととばめぐみ市議がおこないます。12月2日～4日の日程です。詳細が決まり次第、市議団ホームページなどでお知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。



松村としお市議



とばめぐみ市議

# 深刻な人手不足 処遇改善が切実

## 学童市連協と懇談



市連協と懇談する党市議団

党市議団は10月28日にさいたま市学童保育連絡協議会（学童市連協）と懇談し、党市議団から久保みき、松村としお、とばめぐみ、たけこし連の各市議が出席しました。

西田隆良会長から市政に対しておもに次の3つの要望が話されました。

- 1、人手不足解消のため、国の処遇改善費1クラブあたり300万円を満額適用してください
- 2、施設は行政の責任で整備してください。

せめて施設整備費を国水準の1300万円に、家賃補助の上限を実勢価格に合わせて増額してください

3、子どもの命を守るため、市内すべてのクラブにAEDを設置してください

さいたま市では学童保育（放課後児童クラブ）は民間まかせになっているにもかかわらず、支援が不十分な実態が具体的に語られました。

要望を受けて松村市議は「これらの要望は党市議団としてもこれまで議会質問でとりあげてきたことであり、大いに賛同するとともに、実現のために力をつくしたい」とこたえました。

要望を受けて松村市議は「これらの要望は党市議団としてもこれまで議会質問でとりあげてきたことであり、大いに賛同するとともに、実現のために力をつくしたい」とこたえました。

## 金子あきよが現場を歩く

### まずは子育て世代の状況調査から

#### こども食堂フォーラムに参加



ブース出店者からお話をうかがいました

11月6日、埼玉県主催の「こども食堂フォーラム」に参加しました。県内各地でこども食堂を運営する団体や、これからはじめたい人などが集まり、こども食堂やフードパントリー、プレーパーク、無料塾など、とりくみの事例から経験を学び、活動を交流しました。

子どもの貧困が広がるなかで、居場所づくりとそれを継続的に運営していくためのネットワークの構築が大きな課題となっています。さいたま市でも「子どもの居場所作り事業（多世

代交流会食）補助金」という制度はありますが、ニーズが高まっている実態に即して、ボランティア団体などの活動への支援を拡大することも求められます。

埼玉県は「子どもの居場所づくりアドバイザー派遣事業」など、各種支援を積極的におこなっており、大きな役割を果たしています。私は市に対して、まずは子育て世代の状況を調査し、子どもの貧困の実態を把握したうえで、自治体として対策をもつよう求めていきたいです。

## 見沼区 病院へ行くバスを増やして

10月29日、見沼区片柳地域の住民が、国際興業さいたま東営業所と市交通政策課それぞれに、バス路線の改善を求める要望書を提出し、懇談しました。懇談にはとばめぐみ市議も参加しました。

片柳地域から新道を経由し、自治医科大学付属さいたま医療センターへ行くバスは朝7時台で終了するため、日中は最寄りの旧道天沼町バス停から約1km歩かなければなりません。住民のみなさんは、「日中も新道経由のバスを走らせること」「大宮駅から見沼区を経由し、さいたま市立病院へ行く路線を拡充



市に要望書を手渡す住民らととば市議（左から2人目）

すること」を強く要望しました。

国際興業と交通政策課からは、運転士不足や乗客数が少ないなどの課題が共通してあげられました。交通政策課は「検討し、粘り強くバス会社とも話しあっていく」と回答。とば市議は「片柳地域はバスだけが頼りの地域。高齢化で免許の返納者も増え、公共交通機関の役割は重要だ。実現するまで住民とともにがんばりたい」と語りました。

## あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連